

ことわざ・慣用句シリーズ

ここでは毎月、覚えておきたいことわざと慣用句を取り上げます。みなさんはどのくらい知っていますか？

慣用句

『味をしめる』

意味:「うまくいったこと」が忘れられずに調子に乗ること。

ひとこと:この場合「味」はおもしろみ、うまみの意味。

使い方:お使いでだちんををらって弟は「味をしめて」何度も行きたがる。

『足をひっぱる』

意味:他人の成功や集団行動のじゃまをすること。

ひとこと:「足手まとい」と似た意味

使い方:僕が試合に加わるとみんなの足をひっぱるからやめておく。

ことわざ

『ありの穴から堤つつみもくずれる』

意味:小さな油断や不注意がもとで大事件を引き起こす。

ひとこと:「油断大敵ゆだんたいてき」と似た意味。

使い方:「ありの穴から堤もくずれる」というから今日に試合では小さなミスにも気をつけよう。

『案あんずるより産うむが易やすし』

意味:何事も実際やってみると心配していたより易しくできるものだ。

使い方:実際にやってみると「案ずるより産むが易し」で意外と上手くいくかもしれない。